



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

N o 28

令和5年1月26日

第5回学校運営協議会を実施しました

1月20日(金)、第5回学校運営協議会を実施しました。今回は、まず学校から、「児童・保護者アンケートの結果」について、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果概要とあわせて提案しました。続いて、学校関係者評価について説明し、評価についてお願いして、その後に意見交流を行いました。

【話し合われた内容・意見等】

- 児童アンケートの「いじめはどんなことがあってもいけないことである」の設問に97%が肯定的な回答をしているが、残りの3%について重くとらえ、考えていく必要がある。
- 地域としては、児童アンケートの「地域行事に参加していますか」が、気になる場所である。20%近くが参加していないと回答しており、今後の課題として、地域や学校から積極的な参加をPRしていく必要がある。一方、地域のスポーツ行事への参加は、増えており、低学年が保護者とともに参加してくれている。今後も親子で楽しんでほしい。
- 学力調査の結果から若松小の児童は読解力に弱みがあり、また、読解力を高めるために必要な読書の時間も少ない結果が出ている。授業改善や図書館の活用などを通して弱みを克服していく。また、家庭でも文字にふれる機会を増やしてもらうよう協力を呼び掛けていく。
- 児童アンケートの「困ったことがある時は先生や友だちに相談したり話したりできますか」について、15%の児童が、「できない・あまりできない」と回答している。今後、より相談しやすい体制を整えていくことが大切である。
- 通学路の安全について、通学路で樹木がはみ出たりして通行に支障があるところがないか調査したかどうか。もしそういった箇所があれば、自治会等を通して改善を図っていく。

【教育委員会より】

- 児童・保護者アンケートの結果分析について、熱心な意見交流をしていただいた。地域行事への参加については、コロナ禍が続く中で丁寧に工夫してやっていただいている。今後も地域と学校が連携してやってほしい。
- 国語の読解力は、急に力をつけるのは難しいが、家庭と学校が協力しながら取組を重ねていくことで力がついて、結果が出ると思うので、継続して取り組んでほしい。
- 学校関係者評価は、来年につなげるためにできるだけ多くの意見をお願いしたい。



避難訓練を実施しました



1月24日（火）業間に、避難訓練を実施しました。今回は、避難訓練開始時刻を告げずに、休み時間に大地震が発生し、その後火災が発生した場合を想定して訓練を行いました。教室からだけでなく、クラスによっていろいろな場所からの避難でしたが、ほとんどの子どもたちはそれぞれの場所から放送をよく聞いてすばやく行動ができていました。

地震はいつ発生するかわかりません。自分で考え行動できるよう、訓練を積み重ね、防災意識を高めていくことが大切になります。最後に、自分の命は自分で守ることを確認しました。

家庭学習・読書の取組結果について

第2回家庭学習・読書の取組[1月11日（水）～1月17日（火）]にご協力いただき、ありがとうございました。チェックシートを使って、「テレビやスマホの視聴1時間以内」「家庭学習（10分×学年）」「読書」を目標に取り組んでももらいました。「テレビやスマホの視聴1時間以内」は、52%（9月実施時50%、+2%）、「家庭学習（10分×学年）」は77%（9月実施時75%、+2%）、「読書」は60%（9月実施時、+6%）という結果となりました。高学年ほど割合が低くなっているのが気になりますが、「保護者から一言」から、家庭でお子さんが意識できるように声をかけていただいていることで、前回から少し改善が見られたのではと考えます。今後も毎日の習慣として、継続して取り組んでほしいと思います。

